

新型コロナの大流行、市長のメッセージは市民に届いているか

釧路市長 蝦名大也様

2022年1月25日(火)

日本共産党議員団

村上 和繁
梅津 則行
工藤 正志
西村 雅人

新型コロナウイルス感染拡大に対する緊急要望

(要望項目)

1. 市長に直接要望します
 - (1) 市民に対して緊急会見を行ってください。
 - (2) 感染拡大が収束するまで定期的にメッセージを発信してください。
 - (3) 感染拡大時において、釧路市としても「一般検査事業(無料検査)」を実施してください。また、2月7日までとしている北海道の事業が終了しても釧路市が独自に実施してください。
 - (4) 釧路保健所に保健師や関係する職員を派遣するなど、支援を強化してください。
 - (5) 5～11歳の子どもワクチン接種は、保護者が正しい情報に基づき判断できるようにしてください。
 - (6) 令和4年度市・道民税申告期限が3月15日となっていますが、それを延長して下さい。
2. 政府・北海道への要望を強めてください
 - (1) 3回目のワクチンが早期に接種できるよう国に供給を求めて下さい。
 - (2) 軽症者が多いので宿泊療養施設の確保を求めて下さい。
 - (3) 「いつでも、誰でも、無料で」という立場で、大規模・頻回・無料のPCR検査を求めて下さい。
 - (4) 保健所の体制を強化するために、職員の緊急増員をし増やした職員を定員化することによって正規の職員増を求めて下さい。
 - (5) 住民税非課税世帯等臨時特別給付金の申請が始まりましたが、①均等割だけが課税されている世帯に支給されない点、②市町村民税均等割が課税されている者の扶養親族等のみで構成されている世帯は支給要件を満たさないものとしている点は改善するよう求めて下さい。



要望書を手渡す村上かずしげ市議団長

1月25日、共産党市議団は新型コロナウイルス感染対策に関する緊急申し入れを釧路市に行いました。前文を除いた要望項目と主な伴副市長とのやり取りを以下、紹介します。

問 3回目のワクチン接種を可能な限り前倒しすべき。

答 市としての取り組みには限界があるが、少しでも早める努力をしたい。



問 今回の申し入れで一番強調したいことは、市長が市民にしっかりとメッセージを伝えてほしいということだ。

答 そこには意をもちたいが、テレビなどに出てくるのは知事と政令市の市長。一般市の市長としてはよくやっていると思っている。

問 釧路市としても無料の検査をすべき。

答 道の検査期間を延長するよう要請する。

問 保健所の体制がひっ迫している。市から支援すべき。

答 先週から毎日2人派遣して

いるが、これが限界。

問 こどものワクチン接種で保護者が的確な判断ができるよう否定的な情報も含めて情報を伝えるべき。

答 何が正しいかはわからないが、かみ砕いてわかりやすい情報を伝えたい。



問 市民税の申告期限を延長してほしい。

答 弾力的にしたい。

問 住民税非課税世帯等給付金について、均等割のみ賦課されている世帯も対象に加えてほしい。

答 今のところ対象とされていないので、市で対応するのは難しい。

